

わたしたちに出来ること

3・11からもう3年あまりの歳月が過ぎた。
時の流れは速いけれど、記憶の中に永くとどめ続けることが、
わたしたちに出来ることであり、なくてはならないこと。
3・11を忘れないために、小さな灯を点し続けていきたい。

群青

- ああ あの町で 生まれて 君と出会い
たくさんの思い抱いて 一緒に ときをすごしたね
今 旅立つ日 見える景色は 違っても
遠い場所で 君も同じ空 きっと 見上げてるはず
「またね」と手を振るけど 明日も 会えるのかな
遠ざかる 君の笑顔 今でも忘れない
- あの日見た夕陽 あの日見た花火
いつでも君がいたね 当たり前が 幸せと知った
自転車をこいで 君といた海
鮮やかな記憶が 眼を閉じれば 群青に染まる
あれから2年の日が 僕らの中を過ぎて
3月の風に吹かれ 君を 今でも思う
- 響け この歌声 響け 遠くまでも あの空の彼方へも
大切なすべてに届け
涙の目で 見上げた夜空に 希望が光ってるよ
僕らを待つ 群青の町で
きっと また会おう あの町で会おう
僕らの約束は 消えはしない 群青の町で
また会おう 群青の町で

作詞 福島県相馬市立小高中学校H24年度卒業生
作曲 小田美樹 編曲 信長貴富

東日本大震災のあと福島県相馬市立小高中学校で授業が再開されました。震災前106人いた生徒が10数人になっていました。音楽の授業はやらなければならない。でも生徒たちは歌を歌える状態ではなかった。そんな時、同校の小田美樹教諭は生徒たちがはなればなれになってしまった仲間を思って、つぶやいたり書き留めた言葉の数々を綴って、曲を付けました。そうしてできた曲が「群青」です。

平成26年(2014) 10月

No.61

発行/特定非営利活動法人 りんりん
半田市岩滑高山町5丁目4番地
TEL(0569)21-3646 FAX(0569)32-6623
http://rinrin.or.jp E-mail npo@rinrin.or.jp

ありがとうございます

皆さまのあたたかいご支援が
りんりんを支えています。

ご寄付ありがとうございます

伊賀鈴代 高山利光 (敬称略)

平成26年度賛助会員

平山 信子 宇都 節子 澤田 正秋
新美さかえ 鈴木 善一 (敬称略)

公益信託 大野良久記念老人福祉基金より 助成金をいただきました

“サロンごえん”では、食をテーマにみんなでワイワイガヤガヤ楽しみながら料理を作っています。助成金は、そのための炊飯器・オーブンレンジ・食器等の購入に使わせていただきました。

りんりんのできごと

- ・半田中学校の生徒が“りんごクラブ”の職場体験
- ・半田中学校の先生が“デイサービスやなべ”で研修
- ・愛知県職員採用2年目の10名がNPO現場体験研修
- ・日本福祉大学の学生3名がサービスマニエールで現場体験

～ ヘルパー研修会 ～

- 6月 加算事業所とは・実施記録の書き方…………… 42名
7月 認知症の混乱期からの現状・介護の仕方・寄り添い方 …… 39名
9月 小児医療出前講座「子どものいのちを守ろう」…………… 39名

多世代交流事業

	6月	7月	8月	9月
生き活きサロン	177名	202名	109名	161名
さをり織り	39名	33名	2名	44名
絵手紙	16名	18名	20名	21名

(延べ利用人数)

会員数

賛助会員	利用会員	協力会員	合計
49名	64名	114名	227名

(H26/9月末現在)

特定非営利活動法人 りんりん



岩滑の秋を迎えて

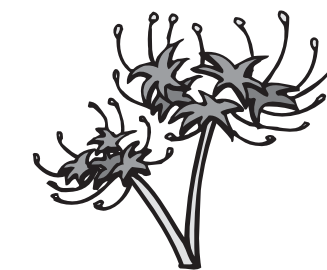
例年になく雨の多さに彼岸花もびっくりにしたのか10日程も早く咲き出してしまう、関係者をハラハラさせました。それでも真っ赤な花に魅かれるように今年も大勢の見物客で賑わいました。

「ごんの秋まつり」は今年で7回目。岩滑側に加え、矢勝川対岸の阿久比町の彼岸花も見事に咲きました。近い将来、この両岸を結ぶ“飛石”ができることになり、秋まつりの広がりが楽しみです。

りんごクラブの子どもたちは、暑い夏を越えて、ひと回りたくましくなり、デッキの手すりにまるで芋虫のように何人もが連なって遊んでおり、その姿を見ると微笑ましくなります。また“サロンごえん”のおばちゃんたちと取り組んだごはん作りでも、子ども達の成長ぶりがうかがえて、うれしい限りです。家族以外の大人と一緒に過ごす時間は、本当に貴重です。

この子どもたちが心豊かに育ってくれること、そして彼岸花をはじめ岩滑の財産を大事にできる大人に育ち、「岩滑小学校応援隊」「岩滑お助け隊」を繋いでいく人になってほしいものです。

子どもには子どもにしかない力があります。一歳半のNちゃんが、ちいちゃな手でバイバイしてくれると、普段は感情をなかなか表に出さ



ない利用者さんも、思わず“にっこり”と手を振ります。傍にいるヘルパーまでも幸せな気分になれます。日常の小さな出来事ですが、こういう積み重ねがまちを変えていく力になっていくのだと、実感しています。

“0～100才の岩滑版地域包括ケア”を進めていけるように、10月から3回にわたり、小円卓会議を開催します。岩滑に暮らす人、活動している人、行政・民間それぞれの立場から意見交換の場を持つ予定です。

代表 下村 裕子

りんりん20周年記念イベント

“ズーラシアンブラス”コンサート

平成26年11月2日(日) 雁宿ホール 大ホール
開演13時～(開場12時30分)
S席:2,000円 A席:1,000円

小さな子供からじいちゃん・ばあちゃんまで楽しめる
クラシックコンサートです。

※問い合わせ・申込 りんりん:21-3646

発売中!!



(株)豊田自動織機様 ボランティアありがとうございました

6月22日(日)(株)豊田自動織機 社会貢献グループ 東知多工場 班長会10名の方々が今回5度目のボランティアに来てくださいました。あいにく雨でしたが、網戸の修理・高いところの掃除・窓ふきなど普段手の届かない所の作業をしていただき大変綺麗になりました。そのあとは、“日曜料理グループ”の作ったカレーを食べていただきました。



～ 鈴木たみ子さん白寿のお祝い ～

半田市役所からご長寿のお祝いが届けられました。戦後7年を経たご主人を亡くし、以来、4人の子どもを育てるため70歳まで一生懸命働き続け、この日を迎えました。

足は不自由ながら、杖を頼りに歩き、食事も何でも召し上がります。一番の楽しみはデイサービスでのお風呂と、お家でゆったり過ごすこと。デイサービスで昔からの知り合いの顔を見るだけで落ち着くそうです。



半田商工会議所・優良従業員表彰 ヘルパー 鈴木美早子さん

9月18日、半田商工会議所において、ヘルパーの鈴木美早子さんが、会員事業所優良従業員として表彰されました。

鈴木さんは平成11年りんりんに入会以来、ヘルパーとして12年あまり活躍。ヘルパー引退後はデイサービスのお茶出しやお話し相手、“サロンごえん”での食事作りなどで活動されています。

これからはずっとりんりんと関わりを持って行けたらと話されました。

鈴木さん、おめでとうございます。



寺子屋「やなべっ子ハウス」

厚生労働省の「安心生活創造推進事業」の一部として社協からお話があり、寺子屋「やなべっ子ハウス」を今年8月の月曜日に4回、急遽実施することになりました。家に閉じこもって1日中ゲームをしていたり、不規則な生活になりがちな子どもの長い夏休みを健全に過ごさせたい、そのため子ども達の居場所作り「りんりん茶屋」を開放しました。10名程の子ども達が毎回参加してくれました。紙しばいで始まり、新聞紙で紙てっぽう作ったり、大きなしゃぼん玉やいろんなゲームなどで遊び、妖怪体操で終わりました。おいしいおやつでお腹を満たし、元気に過ごすことができました。

お手伝いして下さった岩滑のボランティアの方々の素晴らしい企画力・段取りに感謝し、参加した大人も子どもも笑顔で楽しくいきいきした時間を持てたことを、大変うれしく思いました。短いけれど充実した時間でした。次回はもっと時間を長く、日数も多く取り、宿題も一緒にやりたいなど期待が膨らみました。



りんごクラブの 夏休み



お出掛け前のひとコマ



ビーチランドへ



みんなdeランチの流しそうめん



日福サービスマーキング生と室内遊び

研修を終えた県職員の皆さんからの「一言」

・半田工業高校 保井 一仁

『子どもと遊ぶのは、とても楽しかったです。反省点としては、あまり子どもを叱れなかったことです。NPO法人という、今まで体験したことのない職場で、かなり緊張して伺いましたが、行政に対する意見も聞け、介護事業の現場も体験でき、今後の仕事にも活かしていきたいと思いました。』

・愛知県水産試験場 加藤 毅士

『今回の研修で、りんごクラブの子ども達の元気の良さに驚きました。勉強に、遊びに、全力で取り組んでいる姿を見ていると、自分も子ども達に負けないよう、全力で仕事に取り組まなければならない気持ちになりました。』

・知多福祉相談センター 市川 貴麻

『無限の体力を持つ子ども達と過ごす6日間は、想像よりも大変なものでした。しかし、子ども達から多くの若い力をもらいました。ビーチランドに行くことができとても満足しています。』

・愛知県防災局防災危機管理課 小野 旭

『6日間という短い期間でしたが、りんごクラブの子どもたちと毎日接することで信頼関係が少し築けたのではないかと感じます。立派に成長した子どもたちの姿をいつか見られる日を楽しみにしています。』

・武豊高校 西行 光成

『実際に研修に行ってみると抱いていた不安を一瞬で吹き飛ばすほど元気一杯のりんごクラブの子どもたちがいて、1週間あっという間に過ぎてしまいました。これからはりんごクラブで元気一杯に過ごしてください。』

・尾張建設事務所 尾張流域下水道出張所 前野 剣吾

『りんりんでの研修の中、子ども達と触れ合うことで、素直な考え方や子ども特有の感性を学ぶと同時に、自分も小学生の時はこのように感じだったなど、忘れかけていた子ども時代を思い出すことができました。』

・愛知県衣浦港務所 高木祐太郎

『あっという間でした。そう感じたのは、とても有意義な時間だったからだと思います。職員の方々や子どもたちから、いろいろなことを教わった、充実感のある研修でした。』

・半田保健所食品安全課 野垣 良太

『子どもたちと遊ぶということの中で学ぶことも多かったと感じるし、りんりの地域との良い関係を実感でき、県職員としての自分を見直すきっかけにもなりました。』



話がはずむ



ヤキトリ!